

講座・イベント案内

プロ主夫直伝！男の楽家事

男も楽しく家事をしよう！

～ワーク・ライフバランス講座～

11月28日(土) 午後2時～3時30分

メセナひらかた会館大会議室(6階) 入場無料 先着80人



講師 山田 亮 さん

1967年(昭和42年)生まれ。家事ジャーナリスト、スーパー主夫、社会福祉士。1998年、当時大学助手だった妻と結婚。キャリアウーマンである妻を支え、主夫をしながら大学博士課程に進学。長女誕生後、ホームページで綴った家事・育児記録をきっかけに執筆活動を開始。ロジカルな視点で「楽に家事をする」方法を日々実践し、「楽家事ゼミ」を主宰して情報提供や家事指導を行う。また、研究教育経験や社会福祉士の視点から、家族や家事の在り方考える「家事ジャーナリスト」としても活動。全国の自治体や企業などで男女共同参画、ワークライフバランス、子育て支援、人権啓発についての講演を行っている。現在、日経新聞土曜日版「日経プラス1」にて不定期連載中。テレビ出演多数。2005年よりNPO法人日本洗濯ソムリエ協会理事。

家事育児の楽しさと楽ちん家事技をプロ主夫が伝授します。
ご家族での参加、大歓迎！

- ◆ 申し込み 11月2日(月)午前9時から電話・ファクス・メールでウィルへ。
※ファクス・メールでお申込みの場合は、名前・電話番号・イベント名・保育などの申し込みの有無を明記してください。
 - ◆ 保育 生後6カ月以上の就学前児。無料。11月20日(金)までに要予約。先着5人。
 - ◆ 手話通訳・要約筆記 11月20日(金)までに要予約
- ※新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止する場合があります。マスク着用など感染予防にご協力ください。

ウィルは女性も男性もいきいきと暮らせる社会づくりをめざす枚方市の拠点施設です

枚方市 男女共生フロア・ウィル

〒573-0032 枚方市岡東町12番3号 ひらかたサンプラザ3号館4階

TEL 072-843-5636 FAX 072-843-5637

E-mail jinken@city.hirakata.osaka.jp

業務時間 9:00～17:30 (土日祝日、年末年始休所)

※ただし、火・木は 20:00 まで、第1土曜日は 9:00～17:30 まで受付

【女性相談のご案内 お問い合わせ申し込みはウィルへ】

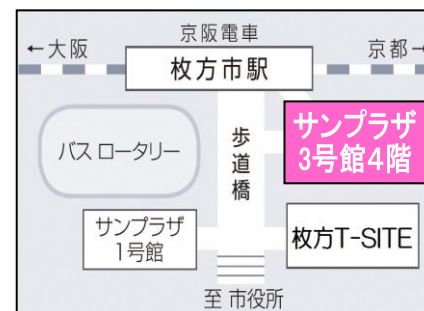
電話相談 (専用電話072-843-7860) 火曜日:15:00～20:00 水曜日:13:00～17:00 木曜日:10:00～15:00

面接相談 (面談 要予約) 水曜日:13:00～16:10 木曜日:14:50～19:30 金曜日:10:00～15:00

法律相談 (面談 要予約 1人1年度1回限り) 第1土曜日・第4火曜日:10:20～12:50 第2金曜日:13:20～15:50 第3木曜日:17:20～19:50

【男性電話相談】(専用電話072-843-5730) 第1土曜日:14:00～17:00 第4木曜日:18:00～20:00

【LGBT電話相談】(専用電話072-843-5730) 第2木曜日:15:00～20:00



W i l l ウィル

枚方市男女共生フロアだより 令和(2020)年11月発行

◆11月12日から11月25日は「女性に対する暴力をなくす運動」期間です◆



11月12日から25日は、「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。今年は「性暴力を、なくそう」をテーマに、全国で啓発や相談などの取り組みが強化されます。国では、今年6月に、2020年から2022年までの3年間を、性犯罪・性暴力対策の「集中強化期間」と位置付けるとしており、性暴力のない社会づくりに向けて、一層の前進が求められています。

今年9月、アメリカの雑誌であるタイム誌が毎年発表している「世界で最も影響力のある100人」の2020年版が発表され、日本からは性被害を告発したジャーナリストの伊藤詩織さんと、黒人への差別に抗議する活動が評価されたテニス選手の大坂なおみさんが選ばれました。2人の女性が選ばれたことは、本当に素晴らしいことだと思います。

特に、伊藤詩織さんは、激しいバッシングを受

けながらも、自らの性被害を告発することで、声をあげられなかった性暴力被害者を励まし勇気づけました。そして、女性たちが花を持って集まり、性被害の経験について語ることで性暴力に抗議するフラワーデモが、全国に広がったのです。

一方、9月末には、衆議院議員である杉田水脈氏が、女性への性暴力対策に関連して「女性はいくらでも嘘をつけますから」と発言しました。女性の性被害の訴えを疑うかのような発言に多くの抗議の声があがり、インターネットを通じた抗議署名は13万人を超えました。杉田議員は自分のブログで発言について釈明したものの、はっきりした謝罪はないままとなっています。こうした状況が許されているのは、大変残念なことです。

困難な道程ではありますが、女性に対する暴力を決して許さず、すべての人の人権が尊重される社会をつくっていく必要があります。

● contents

- (1) ウィルコラム
- (2) 離婚を考える女性のための連続講座
- (3) 離婚を考える女性のための連続講座(続き) 図書紹介
- (4) 講座・イベント案内

講座報告

「自立を目指す女性のための連続講座」を 開催しました。

男女共生フロア・ウィルでは、離婚後の生活に役立つ知識を学ぶ「自立を目指す女性のための連続講座」を9月30日（水）、10月9日（金）、10月15日（木）のいずれも午後2時～4時にサンプラザ生涯学習市民センター（ひらかたサンプラザ3号館5階視聴覚室）にて開催しました。今回は「子連れ離婚」に重点を置き、離婚前に話し合っておくべきお金のこと、子どもの気持ちへの寄り添い方、調停離婚や財産分与など法律的なことについて専門家や弁護士の方にいろいろと教えていただきました。新型コロナウイルス感染症がまだまだ落ち着かない中で少人数のご参加でしたが、アットホームな雰囲気の講座となりました。

この講座が、参加者の皆さんが自分らしい一歩を踏み出す一助になればと思います。

○第1回 お金 「離婚が頭をよぎったら知っておきたいお金の話 ～家計・保険・仕事～」 講師：加藤葉子さん（株式会社マイライフエスピー 女性とシングルマザーのお金の専門家）

離婚の話し合いの前にはたくさん情報を集めて具体的に準備しておくことが大事であること、財産分与や年金分割、保険、年金の確認のポイント、子どもの養育費、離婚後のライフプラン、公的な制度についての説明など、さまざまな「お金」の話をしていただきました。



～アンケートから～

- ・誰からも教えてもらえないことが聞けてよかった。少し心強くなりました。
- ・離婚は個々で状況が違うので、離婚前後のお金の振り分けについてもう少し聞きたいと思いました。

○第2回 子ども 「子連れ離婚 ～子どもとの関わり方～」 講師：桑田道子さん（女性ライフサイクル研究所フェリアン講師）

離婚について、ある程度方向性が決まってから今後の見通しを子どもに伝えることが子どもに安心を与えることに繋がることや、離婚前や離婚後に子どもとどのように対話していくか、どんな反応があるのか、面会交流の考え方、社会資源の利用、離婚が子どもに与える影響などを具体例も交えてお話しいただきました。

また、面会交流することで良いことと大変なことを各自考え、発表してもらいました。最後には、参加者全員に質問をしていただいたことで、講師からのアドバイスはそれぞれ大変参考になるものとなりました。

～アンケートから～

- ・具体的なお話や参加者のお話を聞けてとても参考になりました。
- ・離婚したことで子どもが受けるダメージを把握することができました。
- ・どんな問題が起きるかイメージがつかしました。



○第3回 法律 「ママに役立つ、離婚にまつわる法律講座」 講師：大沼順子さん（弁護士）

離婚をめぐる状況について、離婚のさまざまな方法について、養育費や財産分与の試算をするときに注意することや面会交流をめぐる動向についてなど、離婚について詳しく教えて



いただきました。また、最近は調停や裁判に必要な書式なども裁判所のホームページに掲載されていることが多く、離婚を考えるならば事前にホームページなどをよく見ておくことも有効であることや、調停離婚は弁護士なしで自分でも申し立てして行うことができ、相手と直接話すのではなく調停員が間に入ってくれることで精神的なストレスをためにくくなる、などのお話もありました。「書類を記入することは具体的に離婚について考えるきっかけになる」とのことで、離婚届や家事調停申立書を手元に置き、実際に記入することを想像しながら入手方法、記載事項説明、作成方法の説明などをしていただきました。

～アンケートから～

- ・離婚は年代や定年後かどうかなどによって様々なケースがあるので、ケースごとでのテーマ設定、講座があるとありがたい。
- ・具体的かつ最新の話がうかがえて、とても参考になりました。

◆ちょこっとほんの紹介 ～ウィル図書コーナーから～



『シングル単位思考法でわかるデート DV 予防学』 伊田 広行／著 かもがわ出版 2018年

「愛し合うふたりは一心同体」、「愛し合っていれば隠し事はいけない」、「恋人を第一に優先し、尽くすべき」というフツウの恋愛観の中に、実はデートDVを生んでしまう危険があります。恋人同士はこうあるべきだ・・・という、その常識がDVにつながってしまう。恋愛中のふたりが、互いを尊重し合う「ちょうどいい人間関係」を築くためには「シングル単位の思考法」を身に着けることが大切。この思考法は恋愛以外の人間関係にも広く応用でき、役立つ。一読をおすすめ。

新着図書ラインナップ

暴力で傷ついた心と体・・・それでもしなやかに生きなおす力を信じて・・・



大嶋 栄子／著
金剛出版 2019年

『生き延びるためのアデクション～嵐の後を生きる「彼女たち」へのソーシャルワーク』
医療モデルを超えて生活支援共同体への実践へ。4つの嗜癖行動パターンと3つの回復過程モデルを手掛かりに、暴力、貧困、ステイグマに絡めとられた「彼女たち」の生活を取り戻すための援助論。



佐々木くみ他／著
イースト・プレス出版 2020年

『少女だった私に起きた、電車のなかでのすべてについて』
12歳の中学生が制服を着て電車通学するだけで、連日痴漢被害に遭い続ける。「痴漢は犯罪」、誰もが知る言葉だが、その日常性故に軽く扱われることも多い。被害の根深さと加害の認識の甘さに対し、実体験から問題を提起する書。

■DV相談窓口■

枚方市配偶者暴力相談支援センター「ひらかたDV相談室」

050-7102-3232（専用電話） 平日 午前9時～午後5時30分
～「DVかもしれない」と思ったら、一人で悩まず相談してください～
・大阪府中央子ども家庭センター 072-828-0277（平日午前9時～午後5時45分）
・大阪府女性相談センター 06-6949-6022、06-6946-7890（平日午前9時～午後8時）
06-6946-7890（夜間・祝日）

